



BEPPU

「ふっふっふ」がただよぶまち



発行日/1992年8月
発行/別府市
編集/企画部企画調整課

1992
市勢要覧

人間性回復都市をめざして

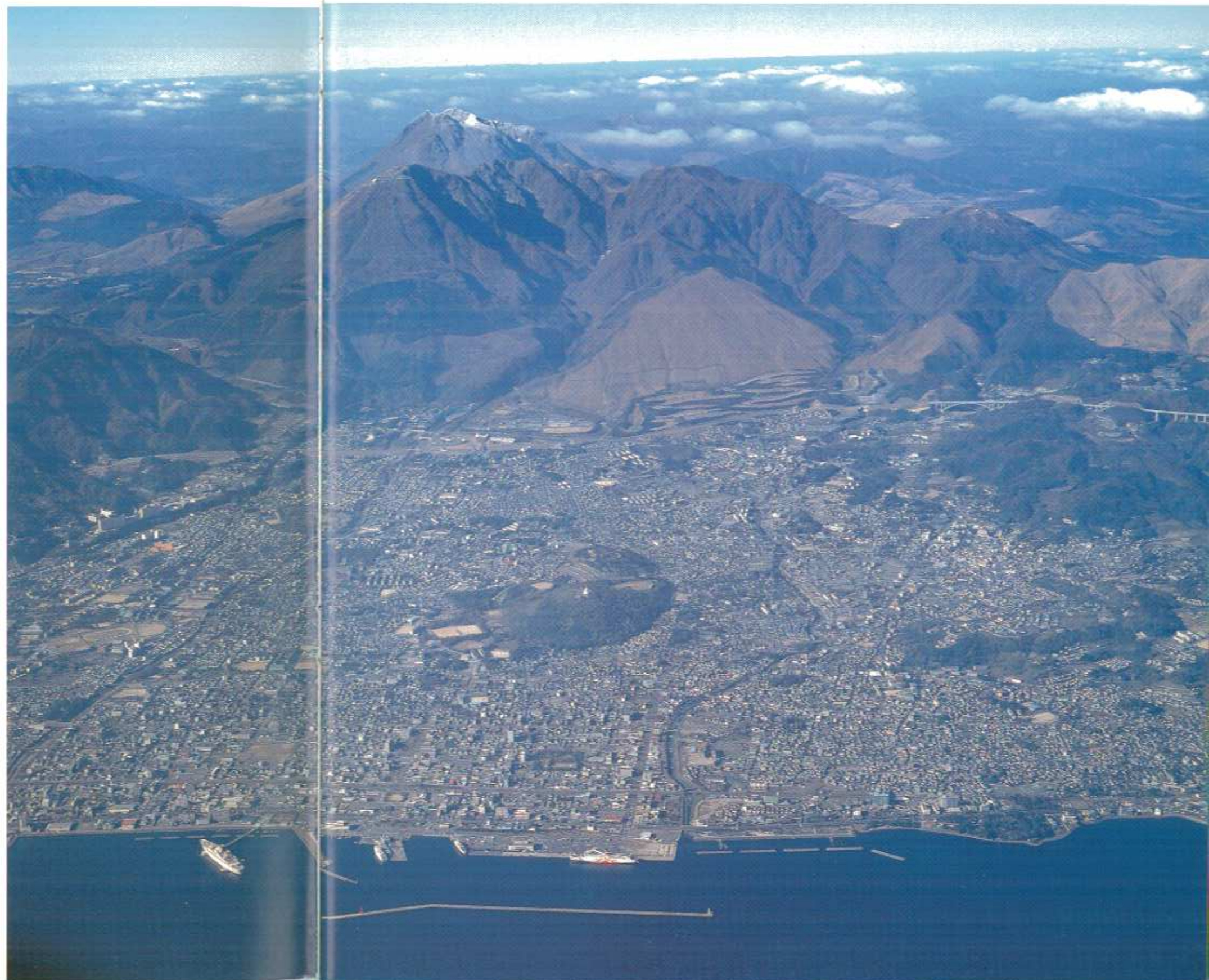


別府市長 中村 太郎

空、海、高原、そして温泉に恵まれた都市、別府。別府に来ていただければ、何かしらほっとする。体の疲れがとれる。そして真の自分と出合えるまち。こんな「人間性回復都市」を別府市はめざしています。平成7年には、日本を代表するコンベンションセンターが完成しますが、自然環境都市としての特性を生かし別府全体が自然と温泉に恵まれたクア・コンベンション・シティになるよう、都市づくりをめざしてまいりたいと思います。

WITH THE AIM OF CREATING A HUMAN RESTORATION CITY

Beppu City is blessed with beautiful skies, blue seas, grand plateaus and abundant hot springs. We are striving to realize our vision of a "Human Restoration City", in which visitors feel relaxed, refreshed, and can find their true selves. The leading convention center in Japan is expected to be completed in 1995. We are determined to make good use of the natural setting of the city to fulfill our hope of making it the Cure Convention City, rich with hot springs.





人間性回復都市

BEPPU

BEPPU - A HUMAN RESTORATION CITY

ここは、本当の自分を見つけることができる。

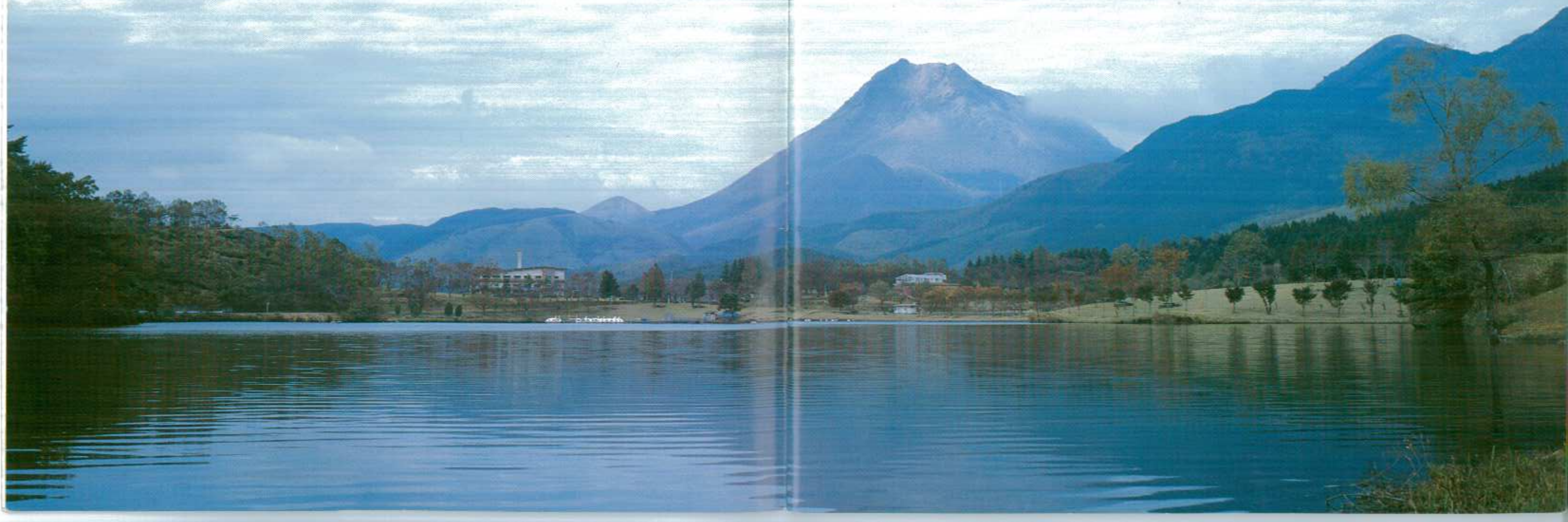
心の豊かさへの要求にこたえてくれる

そんな磁力をたたえた都市を目指して。

クア・コンベンションシティ・別府

This is Cure Convention City Beppu.

A magnetic city, where people can find their true selves
and be able to satisfy their spirits.



STAGE 1

広がりのある 行動的なまちづくり



1月のシンボルフラワー・キンセンカ

活力ある豊かなまちづくりを進めるためには、より速くより便利に、人も物も移動できることが必要です。

このため、陸上・海上・空の交通を総合的に整備し、別府からどこにでも手軽に行け、また、気楽に来ることのできる、交通ネットワークの確立を目指していきます。

ACCESSIBLE AND LIVELY CITY

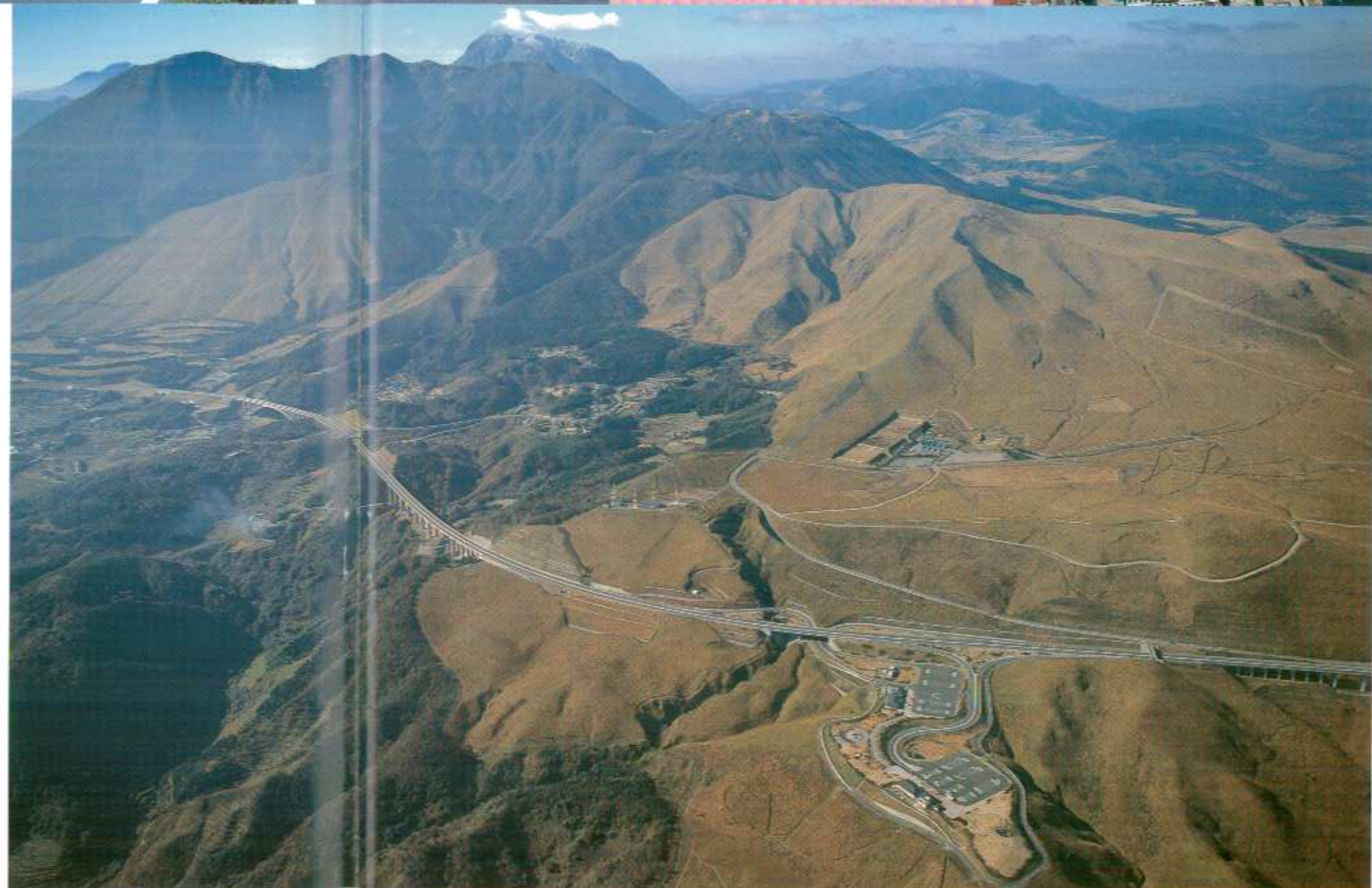
With the aim of making our city affluent and lively, it is necessary for people and goods to move faster and more conveniently.

By improving all traffic facilities, including land, sea, and air transportation, we are aiming to establish a traffic network that will make the city more accessible.



軽い フットワークを 目指す

高速自動車道・国道・県道などの道路ネットワークを充実させます。あわせて都市計画街路・市道の整備も進めていきます。また、鉄道では日豊本線の複線化によるスピードアップを要望し、新幹線・豊予海峡トンネル建設の働きかけをします。海上方面では、国際観光港の整備や新しい航路開設に向けて働きかけます。空の交通では、大分空港の国際化、国内路線の新設や増便などを要望して、軽いフットワークのまちを目指します。



STAGE 2

個性と調和のとれた まちづくり



2月のシンボルフラワー・スイセン

健康で文化的な生活と機能的な都市活動ができるように、環境づくりを進めていきます。その際、自然との調和を十分に配慮しながら有効な土地利用を行います。そしてどこにも見られない、個性と調和のとれたまちづくりを行います。

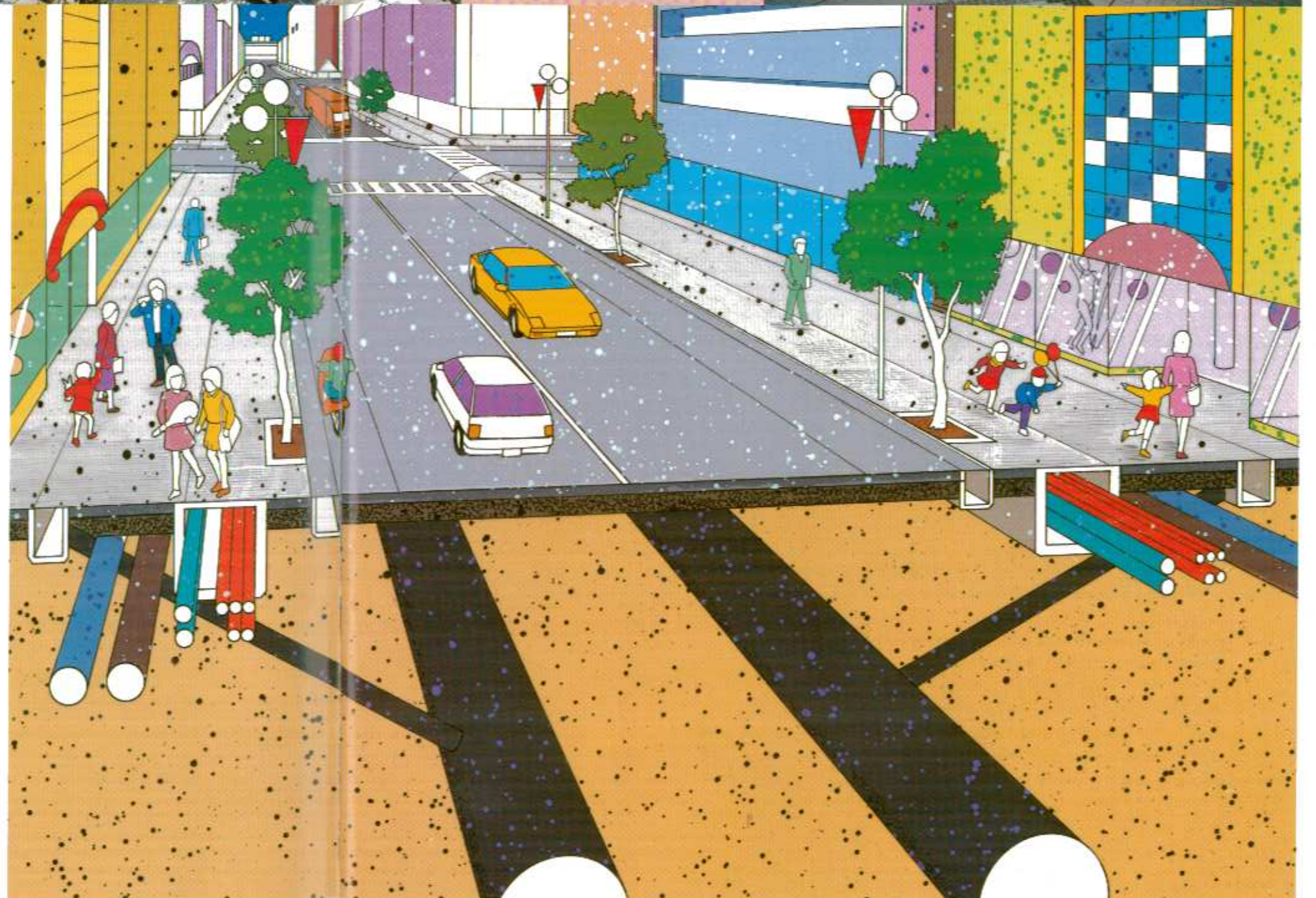
DISTINCTIVE AND WELL-BALANCED CITY

We are working to shape better surroundings for the residents to live a healthy cultural life and an active city life. Paying close attention to the harmony of development and nature, we make good use of the land. We are striving to make our city distinctive and well-balanced.



個性を 生かした 都市をつくる

恵まれた自然を生かして、観光都市として誇れる景観をつくります。「中心市街地活性化事業」では、市のシンボル地域として浜臨地区を整備します。「駅前通りシンボルロード整備事業」ではクア・コンベンション・シティの玄関口としてふさわしい景観をつくります。



STAGE 3

安全で快適な まちづくり



3月のシンボルフラワー・パンジー

潤いとやすらぎがあり、市民が安心して暮らせるまちづくりをします。そのために自然災害、火災、公害、交通事故などの予防や防止に取り組んでいきます。また、住宅、公園、緑地、上・下水道、河川清掃などの整備を行って、安全で快適な生活が送れる環境づくりを進めます。

SAFE AND COMFORTABLE CITY

We are creating tastefulness and serenity for residents to lead a peaceful life. We take preventative measures against problems such as natural disasters, fires, public hazards and traffic accidents. We are improving and expanding such facilities as housing, parks, green tracts of land, water supply and drainage, as well as taking actions such as river cleaning in order for people to lead a safe and comfortable life.



安全・快適な暮らし

生活のなかの安全対策として、防災や消防、交通安全や公害防止対策などに力をいれていきます。住宅や住環境では時代のニーズにあったものをつくります。さらに、市民の憩いの場である公園、緑地の整備を進めます。また上・下水道事業を続け、河川環境をよくしていきます。し尿処理では、効率的に収集できるようにし、ごみ処理では、ごみの減量化と、リサイクル運動によって資源を有効に利用できるようにします。



STAGE 4

心に残るふれあいのある まちづくり



4月のシンボルフラワー・チューリップ

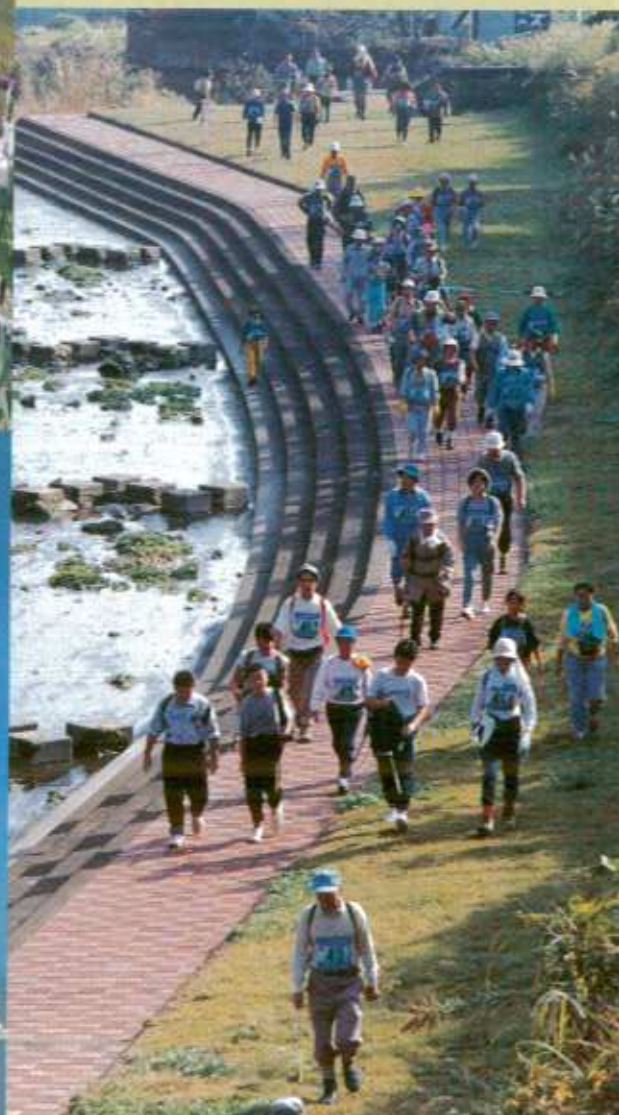
21世紀に向けて「国際観光温泉文化都市」にふさわしい、クア・コンベンション・シティを創造します。

また、観光資源の開発やいろいろなイベントの開催、観光客に対する「もてなしの心」の啓発など、物・心両面で受入体制を整えていきます。こうして個性あふれる観光リゾート都市としての飛躍に努めます。

IMPRESSIVE AND TOUCHING CITY

We are creating the Cure Convention City, to suit the "International Cultural Hot Spring Tourist City" toward the next century.

Besides this, we are striving to be completely prepared both materially and morally to receive tourists through tourist development, various tourist events, and development of the citizens' hospitality. We are devoted to making our city a resort city with character.



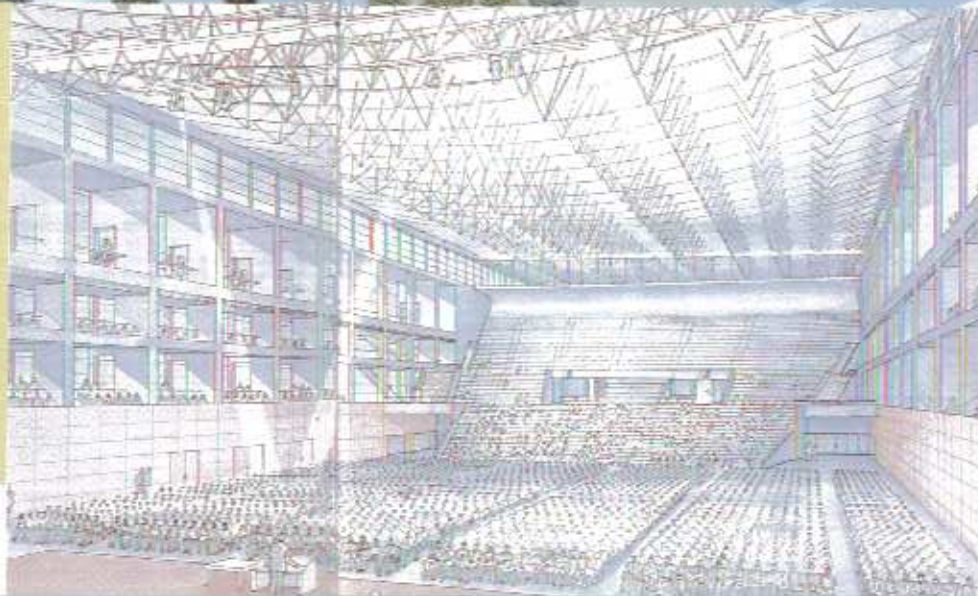
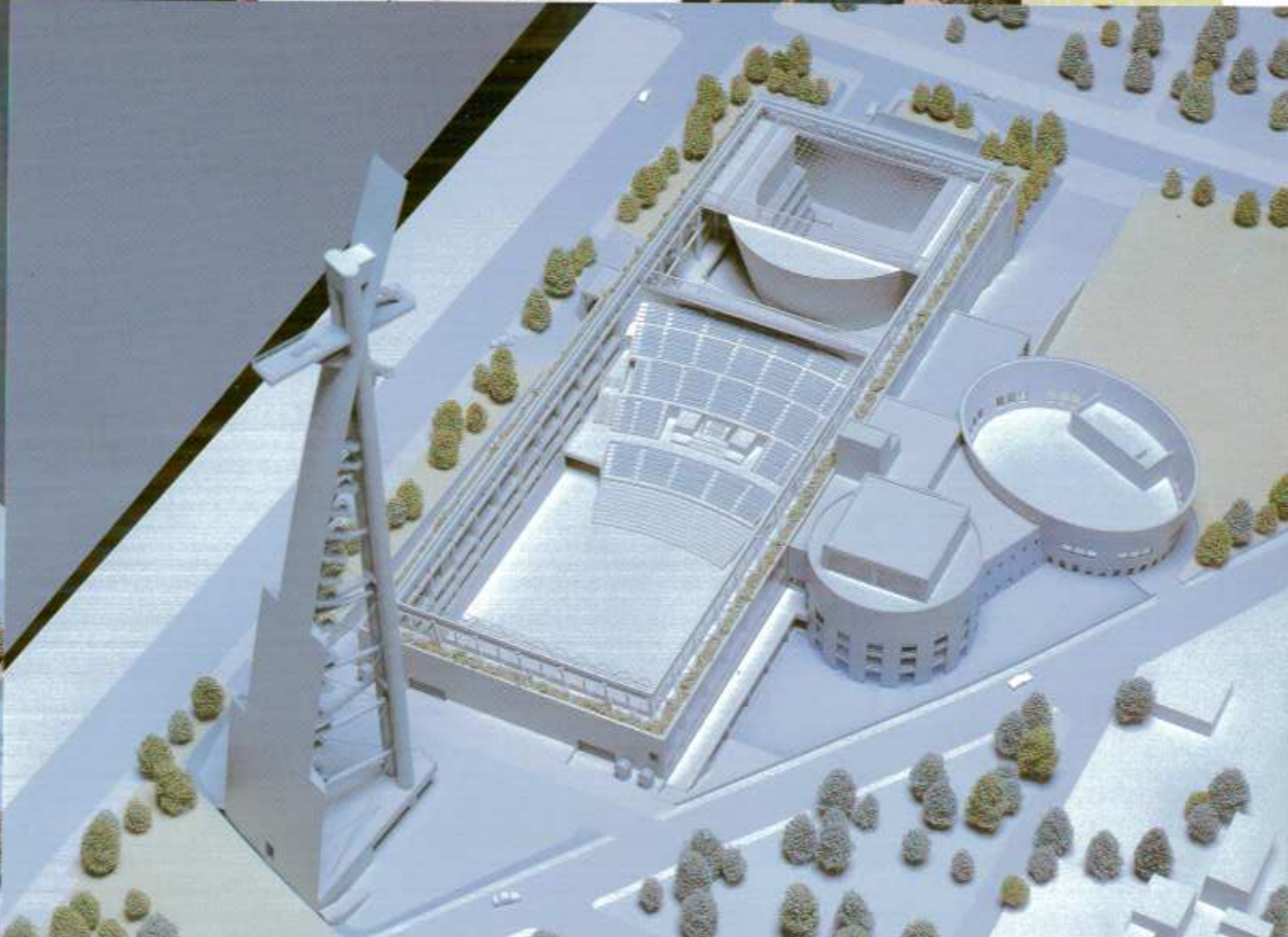
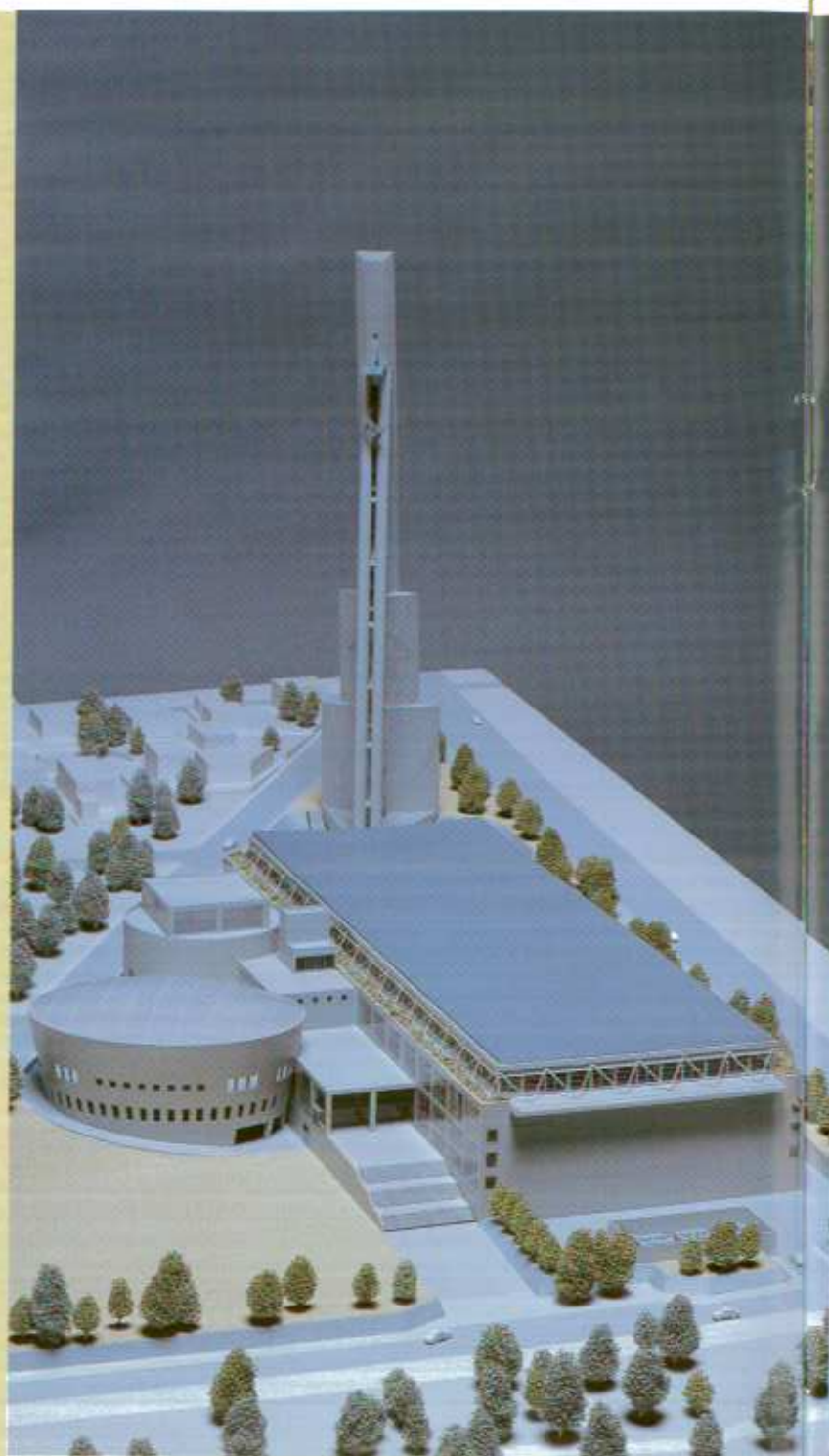
であい・ふれあいの観光リゾート都市

観光案内所の業務体制を整えて情報を発信していきます。また、隣接都市と連携をとり広域観光にも力を入れます。さらに祭りやイベントなどにより、観光客の受入体制を充実させます。そして、観光リゾート都市としての魅力を一層高めていくために、高原ゾーン・丘陵地ゾーン・市街地ゾーン・海岸ゾーンの整備を行っていきます。



国際化と交流拠点都市の創造

他のアジア地域にはない独自の温泉文化都市として、国際観光の拠点になるようにします。そのために、国際イベントを推進したり、国際感覚豊かな市民の育成に努めます。また、交流拠点都市にふさわしい核になる施設（コンベンションホール・市民ホール）を建設します。そして、観光客全てのニーズに対応できる「観光のデパート」を目指していきます。



STAGE 5

温もりと出会える まちづくり

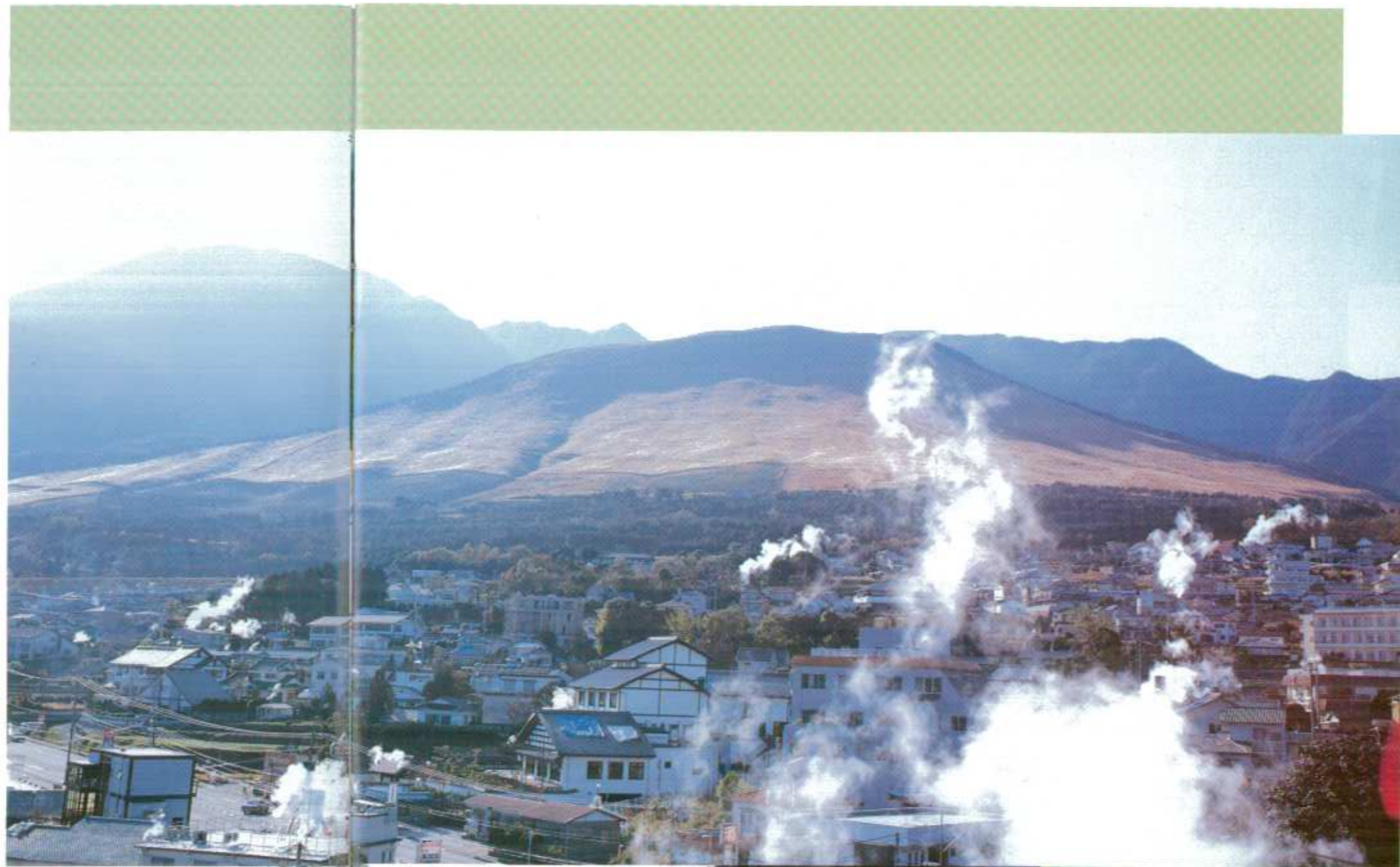


5月のシンボルフラワー・シバザクラ

“別府温泉”というと、よくある“○○温泉”のように温泉が一カ所だけから出ている普通の温泉地と思われがちですが、一度別府に来られた方は、あまりにも広い温泉地域にびっくりしてしまいます。別府温泉は温泉地が何カ所も集まった、いわば「温泉合衆国」なのです。

WARM YOUR HEART AND WARM YOURSELF CITY

“Beppu Hot Springs” tend to be considered as ordinary ones, where there is only a hot spring in one place. But our hot springs are different. There are so many areas with abundant, gushing hot springs that tourists are usually surprised when they see them. Beppu Hot Springs is, so to speak, the “United States of Hot Springs”.



STAGE 6

豊かで活かにみちた まちづくり



5月のシンボルフラワー・マーガレット

別府市の経済の中心は観光ですが、それだけで13万市民が豊かに生活できるかがポイントです。別府に生まれ育ち、仕事につき、その子供達も別府で生活が送れば、三世代一緒に生活ができます。そんな豊かで心安らぐ生活を実現するため別府市は今、観光をさらに活性化するほか、豊かに恵まれた美しい自然を十二分に活用し、研究所などの頭脳立地産業の導入に向けて歩き始めました。亀川の内壠に造成中のリサーチヒルがそれです。

AFFLUENT AND VITAL CITY

The major industry in Beppu is sightseeing. So it is key for all 130,000 residents to lead a comfortable life by it. Born in Beppu, employed in Beppu, and raising children in Beppu, people can enjoy a three generation family life. Beppu City has stepped forward toward the revitalization of the tourism industry, the utilization of the abundant natural resources, and the invitation of research institutions so as to realize a prosperous and comfortable life. One good example of this is the Research Hill at Uchikamado in Kamegawa now under construction.



リサーチヒル
建設予定地

まちも人もいきいき

商店街や商業環境を整備し、いきいきとした個性豊かなショッピング街をつくります。そして、快適な消費生活のできる「暮らしの広場」となるようにします。また、亀川の内壠に造成中のリサーチヒルのような「頭脳立地産業」の導入や、地場産業の発展に力を入れていきます。農林水産業では、経営の自立安定や基盤の整備をして、後継者の育成に力を入れていきます。

STAGE 7

健康で思いやりのある まちづくり



7月のシンボルフラワー・サルビア

人口の高齢化と社会生活の複雑化が進む中、市民の健康への意識が高まっているので、健康・医療体制の充実に努めるとともに、高齢者や障害者など人々の生活が保障され地域社会の一員として社会参加できる、思いやりのあるまちづくりを目指します。

SOUND AND CONSIDERATE CITY

Interest in leading a healthy life has been growing because the population is aging and social life has grown more complex. We make every effort to improve the health and medical services system, and to make our city considerate so that we can assure that everyone, including the elderly and the handicapped, can lead a comfortable life and participate in social activities as a full member of the community.



健康と思いやりを大切にすまち

福祉ニーズの高度化・多様化に対処できるよう、疾病の早期発見・治療・リハビリテーションなどの保険・医療体制の充実に努めます。特に、老人・母子・児童・障害・低所得者福祉を充実させていきます。また、保険・年金制度の適正な運用に努め、保健衛生対策なども推進していきます。



STAGE 8

豊かな心と文化を育む まちづくり



8月のシンボルフラワー・ヒマワリ

現代社会に対応できる豊かな心を持った人づくりのための学校教育と、今後の人口の高齢化にともなう生きがい対策としての社会教育を通して、人々が生涯の各時期にあった学習ができるよう多彩な講座・教室などを充実し「共に学び、共によろこび、ともに生きる豊かな人間性の育成」を目指します。

ABUNDANT SPIRIT AND CULTURE FOSTERING CITY

With school education to foster strong-minded people who can cope with modern society, and social education to give today's aging population a reason to live, we offer various lectures and courses, so that people can learn at any time in their lives. We are aiming at bringing up people with warm humanity: Learn together, rejoice together, and live together.



文化・教育を享受する

学校教育においては、幼児教育から高等学校教育、障害児教育まで、地域の実情にあった特色のある学校づくりに努めるとともに、さまざまな教育内容や教育方法に対応できるよう施設や設備を整備します。また、生涯教育の普及や、文化と芸術の新しい施設としての諸機能をそなえた市民ホールの建設、総合運動施設の建設などを行います。



STAGE 9

夢のある未来をみつめた まちづくり



9月のシンボルフラワー・カンナ

市民と行政との間に、意見交換の場や情報交流の機会をたくさん持つことによって、住みよいまちづくりを一步一步、着実に進めていきます。

誇り高い市民自治の都市で、新しい時代にマッチした行政システムをつくりながら「開かれた市政」を目指します。そして「夢のある未来を見つめたまちづくり」を市民と行政が一体となって進めていきます。

HOPEFUL CITY

We are steadily working to be a comfortable city by offering opportunities for the exchange of ideas and information between the municipal government and the residents. We are aiming at creating an open city government, making an administration system fit for the new era. The city government and the residents make every effort as one united body to make our city hopeful toward the bright future.



活力に満ちた新しい「国際観光温泉文化都市」——クア・コンベンション・シティ実現のために、ニューメディアを導入して、情報や通信の基盤を整備します。そして、効率的でわかりやすい健全な行政の運営に努めます。さらに民間の活力も導入しながら、市民の参加を広げます。また、美しい海岸線を生かしながらリゾートアイランドの建設をしていきます。

未来の豊かな
まちづくりの
ために



10月のシンボルフラワー・コスモス

世界に広がる 温もりの輪 別府市の姉妹都市

熱海市（静岡県）

昭和41年8月5日締結（1966）

人口47,291人／面積61.53km²

伊豆半島北東部の海岸線にある温泉観光都市。国内では別府市と並び称される温泉保養地で、東京近郊から多くの人々が集まります。昭和41年4月、全国ダイヤル市街通話記念のときに元別府市長・荒金啓治氏と元熱海市長・市川止氏との記念通話がきっかけとなって、姉妹都市が締結されました。

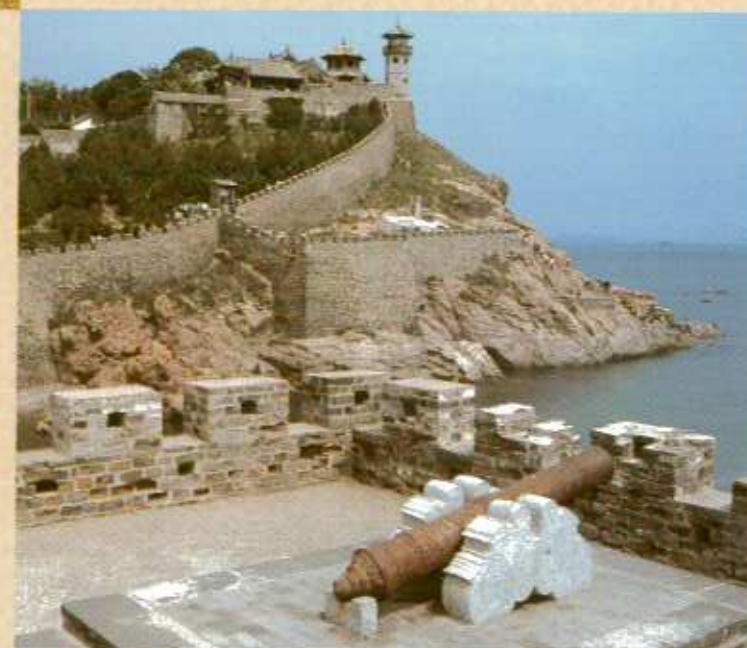


烟台市（中華人民共和国）

昭和60年7月26日締結（1985）

人口6,070,000人（烟台市のみ750,000人）
面積13.506km²

山東省にあって、青島につぐ港湾都市として知られています。別府に良く似た自然環境のなか、要人の保養地としても親しまれています。特産品としてワイン、じゅうたん、水産品が有名。元駐日特命全権大使・宋之光先生の橋渡しによって交流がスタートし、調印の運びとなりました。現在は、留学生の相互派遣などが行われて、積極的な交流が進んでいます。



ロトルア市（ニュージーランド）

昭和62年7月10日締結（1987）

人口63,000人／面積2,700km²

ノースアイランド中央に位置し、温泉観光都市として有名です。その恵まれた大自然は素晴らしく、間欠泉とマオリ文化が特に知られています。駐日のニュージーランド大使を通じて、キーニーロトルア市長と別府市長が話し合いをした結果、調印されました。



木浦市（大韓民国）

昭和59年10月1日締結（1984）

人口250,000人／面積45.58km²

全羅南道の黄海に面したリアス式海岸の入江に市街地が広がり、背後に小高い山が並ぶ自然に恵まれた港町です。陶器や漁網の生産地として知られます。別府中央ライオンズクラブと釜山鎮ライオンズクラブとの交流が進み、調印の運びとなりました。現在は別府J.Cによる少年使節団の相互交流や木浦市立舞踊団の来別など、交流が活発に行われています。



ポーモント市（アメリカ合衆国）

昭和60年5月20日締結（1985）

人口125,000人／面積188.4km²

テキサス州の東南に位置する港湾都市で、その地名は美しい山（Beautiful Mountain）がフランス語なまりになったものであるといわれます。州の石油産出の中心部で、硫黄・バルブなどの産業が栄えています。駐留軍として別府に滞在経験をもつコーパークリステイ市の元市長コムス氏が、全米姉妹都市委員会に別府市を仲介したことがきっかけとなって、調印されました。



BEPPU

TOKYO

衛星放送テレビ会議

もういちど

きたい

まち

「リピート・タウンベっぷ」

別府市では、21世紀に向けての都市像を「人間性回復都市」「地球にやさしい別府です」として、人々を引き付ける魅力のあるまちづくりを進めています。そこで、別府の素晴らしさを再発見し、見直して、それらを観光資源として活用したり、新しい魅力を開発していく事を目的に、東京と別府とを結んだテレビ会議を開催しました。



亀地 別府とって連想するものは。また、足りないと思われるものは。

内田 何と言っても温泉ですね。足りないものは別府の歴史を感じさせる、例えば温泉にしてもそこに行ったら温泉産業の歴史がすべてわかるような施設があったらと思います。

岩瀬 自然。足りないものは車の数に比べて道路の幅が狭い。

柴田 海岸線の並木通りが立派で、感激しました。

足りないものは小ざれいさ。清潔感も含めて。

亀地 皆さんの好きな観光地は。また、観光地として大切な条件は。

内田 街の小ざれいさという点で岐阜県古川、松江、富山県の井波。外国ではシンガポール。街で新しい発見をするには歩く

事ですね。

条件は、街としての統一感。小ざれいさ、歩く楽しさ、そういうトータルとしての良さがないとバラバラな街になりかねない。

岩瀬 仕事柄、札幌、横浜、京都といったお客様のかたまりがある大都市がいいですね。

お客様を受け入れる上で大切なものは、人のサービス、ふれあい、もてなしの心。

歩いて 楽しいまちを

柴田 日本ではいいなと思う都市がないですね。外国ではパリ、フィレンツェ、歴史と文化と……。面的な形で人が歩ける道がある。別府にも立派な建物とかきれいな通りとかありますが、歩いては行けない。

条件は、観光客のわがままを満たすために、受け入れる側の親切なサービス心が必要だと思



元日本地域経済研究所部長
フリージャーナリスト
亀地 宏氏



別府市長
中村太郎氏

います。
村松 歩いて楽しい街という話が出ましたが、別府を歩いて楽しい街にするとすれば、どういうふうにすれば良いでしょうか。

辻 東京の皆さんのお話を伺って感じたことは、一つの都市を自分の身体感覚でとらえ、判断されていると言う事です。

人間が体感できる範囲は半径1kmの円の中でしか無理なのではないかと思っていました。今後の別府の街づくりはそのような大きな身体感覚でとらえていかなければいけないと感じます。

高松 東京の方々から別府の素晴らしさとして温泉、自然をあげていただいたことを嬉しく思います。

最近行った「大分の宝は」というアンケートでも同様の結果が出ております。

ただ、これらの財産の活用に工夫が足りないのではと反省しています。

村松 昔は別府も歩いて楽しい街だった。それが戦後そのような空間が狭くなってきている。

中村 自然では、空、海、高原、温泉、それらがすべて生活の中で、身の回りに感じられる街。

人の関係する部分では、建築や公園というところに歴史とか文化を感じられる街。「ちょっと

おしゃれなまちづくり」という言葉を使っていますが、小ざれいな環境都市、ごみのない美しい街、センスの高い街、そして住む人が安心して、豊かに自然体で住める街。

そういう街を目指したい。部分的にはあると思っていますが、これから築き上げていきたい。

村松 別府の歴史を感じさせる街としてどのようなものと考えていけば良いでしょうか。

高松 最近では地元の観光産業研究会というグループが中心となって由緒ある建築物を保存したり、壊さなければならぬものについては写真とか設計図を保存して一堂に集めていこうという運動ができています。

楽しい ものづくりを

辻 建築を造る立場から考えておりますが、大分県は歴史的に小藩分立で、はなはだ貧困である国柄であったと理解しています。その為、建築物も部材が小さい。ただし、その貧しい素材をいかにして構築するかという職人の技術があり、現在も残っていると言えます。

そういった意味で、大分県の建築は保存の意味があると思います。

今後はそういった物がだんだんと消えていくと思いますが、その時は今ある物より良いもの、楽しい物づくりができれば





大分住宅研究室長
村松幸彦氏

別府信用金庫常務理事
高松右門氏



柴田いづみ建築設計
柴田いづみ氏



いいと、自分に言い聞かせています。

亀地 別府の方がおっしゃったことに関する感想を。

柴田 別府を訪れたときに空、海、高原、温泉、それらがどの街のどこからも見れるということを感じました。海岸線の整備、その10kmがそのまま整備されれば、サンタモニカにも匹敵する素晴らしいものになるのではないかと思います。

岩瀬 文化講演会で私が申し上げたことは、別府は国際都市なんだ。歴史的にも国際性のある街だと言うことです。今回はそれを再確認させていただきました。

内田 これからのすぐれた観光地というものは目に見える部分（小ざれいさ）と目に見えない部分（歴史など）両方が感じられ、見られるような施設が必要だと思えます。

観光客だけでなく、地元の人達にも自分の街を再認識させるような施設が、子供達に郷土愛を持たせる意味でも必要です。

温泉にしましても、世界に冠たる温泉国でありながら、温泉博物館なんてないですね。世界の人達から温泉を語るときには先ず別府に行こうじゃないかと言われるような新しい博物館が欲しいと思います。

亀地 温泉博物館。なかなかいい発想だと思うのですが、その中に作るとしたら、なにを作れば良いと思いますか。

内田 新しい湯治場、つまりもっと精神的にクリニックできる所。半病人の多い都市化社会で本当に健康な人を作る為の新しい湯治場。

戦後の観光地と言う名を借りた歓楽地はもうそろそろぬぐい去ってほしいという気がします。

柴田 日本で一番いろんな温泉が出ると聞いています。大変素材として興味のある街であります。まさに温泉博物館は1つの単体の博物館ではなく、別府の場合は地域に健在するものがそれぞれ博物館であると感じますね。

街全体が博物館であってほしいと思います。

亀地 別府のいい売りこみ方は。

別府は温泉ミュージアム

岩瀬 今、別府の使っている「地球にやさしい別府。」に加えて、「別府は温泉ミュージアム。」ともいえるのではないかと思います。

新しいものが加わっているという意味で博物館よりもミュージアム。いろいろたくさんあるという意味で。

百聞は一浴に如かず

内田 初めての人を迎える手法は一生懸命でも、リピーターを迎える手法が観光界には無い。一度来た人がパンフレットを持ち帰って家族や知人に「良かったよ」と言えるような、来た人が観光セールスマンになってくれるような仕掛けを考えていかなければならない。

その為には、別府は充分土産話を作るネタのある街だと思

いますので、それを活かしていただきたい。

「百聞は一見に如かず」ではなく、「百聞は一浴に如かず」です。

亀地 デパートも1度来てくれた人にもう1度来てもらわなければならないわけですが、そのコツは。

岩瀬 シーズン、曜日によってお客様の層が違います。

そういったところに解くカギがあるのかなと思います。例えば、個人で行く観光、団体で行く観光、ファミリーで行く観光、修学旅行などを1つ1つ分析していくと、そこにお客様のニーズ、ウォンツが出てくるのではないかと思います。

柴田 私たちのようなストレス人間がリラクゼーションを考えるとときの滞在は、長期のケアを目的とした滞在です。ツアーのようなものではなく、自分の意思で動き回るのでしたら、やはり、歩いて楽しくないと、リピートはできないでしょう。

村松 貴重なご意見ありがとうございました。

これからの別府を世界の別府として、国際的なまちづくりをしていくために抱負、ご意見を伺いたいと思います。

辻 温泉博物館は大変ユニークな発想だと思います。実際には温泉は自然そのもので、それを建築の中に取り込んでいくのは不可能に近い大変な作業ですが、どこか開かれる道があるだろうと思います。

3度も4度も訪れたいまちに

高松 日経新聞のアンケート「日本の住みたい町」を見ますと、毎年別府は上位にランクされています。

朝は海から眺める湯けむり、昼は高原から眺める別府市街地、夕方は大分、日出から眺めるロマンティックな夜景。そのようなものを1度でも見た人は住んでみたい、また行ってみたいという気持ちになるのではないかと思います。

再びどこか3度も4度も訪れてもらいたいと思います。

中村 私は別府市を一つの公園

として考えています。

温泉博物館という話が出ましたが、温泉につきましても温泉合衆国という言葉を使っています。

別府八湯それぞれが立派な価値ある温泉ですが、それらを合衆国としてトータルにとらえていきたいと考えています。

トータルなまちづくりを進めることにより、私も、市民一人一人も、観光客の皆さんも別府の良さをトータルに感じられる。

そして、別府ならではの自然環境都市、別府にすれば、ほっとし、心も体もいやされ、自分の本当の姿に出会える人間性回復都市、優しい都市でありたいなあと心から願っています。

亀地 私たちもまた、別府に新しい期待を持ってこれからも何度も伺いたいと思います。頑張ってください。

TOKYO



辻設計主宰
辻隆司氏



三越取締役・銀座店長
岩瀬敬一朗氏



日本観光協会課長
内田州昭氏



11月のシンボルフラワー・キク

市政を進めるために 市民の声を市政に

●市政

市政は、市民の代表として選ばれた市長（執行機関）と市議会（議決機関）が、車の両輪のように、それぞれの権限と責任を分かちながら、市民の声を反映し、民主的で公正な運営を行っています。

●市議会

本市の議会は33人の議員によって構成され、議員の中より議長・副議長を選出します。議長は議会事務を統括し、議会を代表します。本会議には、定例会と臨時会があり、定例会は条例により年4回（3・6・9・12月）、臨時会は必要に応じて開かれます。

議会は条例の制定、改廃、予算の成立、決算の認定、請願等を審議・議決する機関として重要な役割を果たしています。

また、行政の複雑化、専門化に対応して、能率的に審査、検討するために、4つの常任委員会と3つの特別委員会を設置しています。

市議会の活動は、市議会がより詳細にお知らせしています。

●執行機関

別府市総合計画を市政の基本的な指針として、高齢化、国際化、情報化等の社会経済情勢の変化や多様化する市民のニーズに的確に対応しながら、市民の健康で幸せな生活の確保と、活力にみちた魅力ある都市づくりを推進しています。

市政の推進にあたっては、市民の市政への参加を基本としながら、合理的で効率的な行政運営に努め、計画的な施策事業の展開を図っています。



MUNICIPAL GOVERNMENT

The municipal government is run by the mayor (executive organ) who is elected as the representative of the citizens, and by the city assembly (legislative organ). This separates the power of authority, reflects the voice of the citizens, and operates democratically.

CITY ASSEMBLY

The city assembly is composed of thirty-three members, two of whom are elected to be chairman and vice-chairman. The chairman controls assembly affairs and represents the assembly. There are two kinds of plenary sessions. One is an ordinary session which is held four times a year (in March, June, September, and December). The other is an extraordinary session which is held as occasions demand.

The city assembly plays an important role as a deliberative and legislative organ taking charge of such things as legislation of ordinances, alteration and abolition of ordinances, compilation of budgets, approval of settlements of accounts, and petitions.

Moreover, responding to the growing administrative intricacies and specialization, there are four standing committees and three ad hoc committees in order to efficiently examine and deliberate on affairs.

The activities of the city assembly are made known to the public in detail by means of city assembly reports.

EXECUTIVE ORGAN

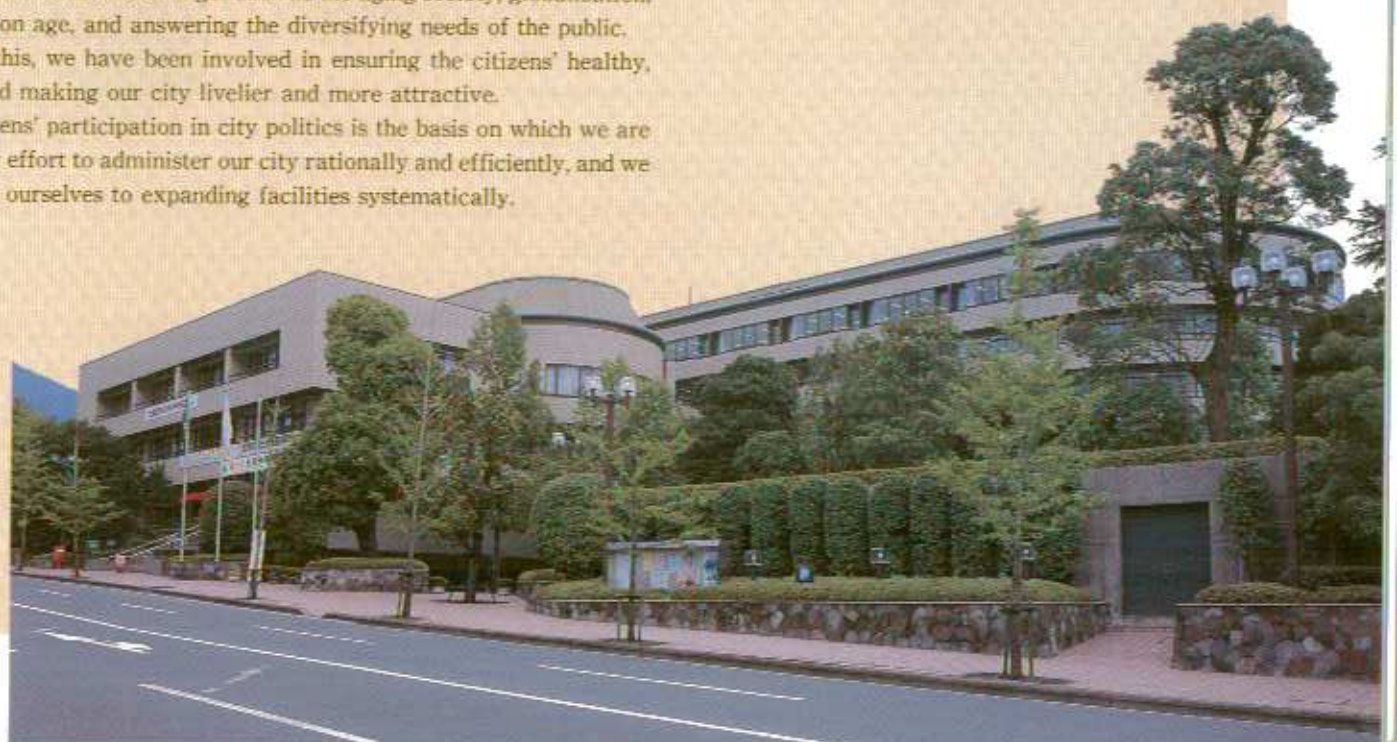
Under the Beppu City Comprehensive Program we have been responding to social and economic changes such as the aging society, globalization, the information age, and answering the diversifying needs of the public.

Beyond this, we have been involved in ensuring the citizens' healthy, happy life and making our city livelier and more attractive.

The citizens' participation in city politics is the basis on which we are making every effort to administer our city rationally and efficiently, and we have devoted ourselves to expanding facilities systematically.



議会構成図（平成4年8月現在）



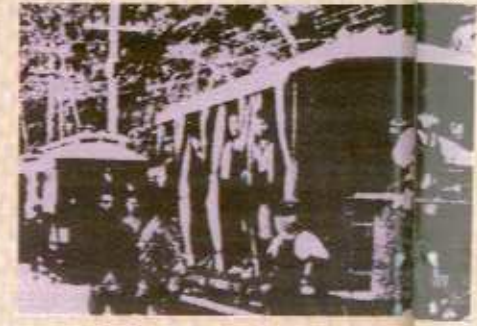


12月のシンボルフラワー・ハボタン

別府市の歩み

年 事 項

- 明治1年 日田県別府支庁設置
- 4年 大分県設置
日田県は大分、小倉両県に分割され、別府は大分県に属す
- 5年 別府郵便所開設
- 7年 別府学校開設
- 8年 別府、朝見両村合併、別府村と称す
- 11年 郡町村制施行、別府、浜協村は速見郡役所に属す
- 26年 別府、浜協両村、町制施行
- 34年 別府学校に幼稚園設置
- 37年 電灯が初めてともる
- 39年 別府、浜協町合併、別府町と称す
- 42年 電話開通
- 44年 別府駅開業
浜協駅開業（現東別府駅）
- 大正6年 町営水道完成
- 9年 第1回国勢調査実施
- 11年 別府図書館開設
- 13年 京大地球物理学研究施設開設
市制施行
市章を制定
- 昭和3年 地獄めぐり遊覧バス開設
公会堂完成
大仏完成
ケーブルカー開通
- 4年 商工会議所創立
- 6年 別府球場完成
- 8年 別府市誌発行
- 10年 石垣、朝日、亀川町、別府市に合併
- 12年 別府国際温泉観光大博覧会開催
- 22年 市長公選になる
- 24年 天皇陛下御巡幸



別府市の歴史は「日本書紀」にさかのぼり、平安時代には「別符」と書かれ、鎌倉から室町時代にかけては大友に、江戸時代は高松代官のもとに統治されました。明治以降は日豊本線の開通や別府港の整備によって町は大きく発展し、大正13年に市制が施行されました。戦後は恵まれた温泉に加えて、さまざまな観光施設が充実。さらに交通網の整備によって、現在も飛躍的な発展を続けています。



年 事 項

- 昭和25年 市営競輪場開設
国際観光温泉文化都市建設法制定
市立美術館設置
- 27年 第1回別府毎日マラソン大会開催
教育委員会設置
- 31年 日出町、挾間町、南端町の一部別府市に編入
市営温泉プール完成
- 32年 別府温泉観光産業大博覧会開催
市立別府商業高等学校開設
高陸下植樹祭に御臨席
鬼の岩屋 2基 国の史跡に指定
- 35年 原爆センター開設
- 36年 市立図書館完成
- 37年 別府ロープウェイ開通
- 38年 国際観光会館完成
日豪対抗水泳競技別府大会
- 39年 別府市開発公社設立
電話自動化改式
別府民衆駅開業
九州横断道路(やまなみハイウェイ)開通
- 41年 北浜海岸埋立完成
熱海市と姉妹都市提携
第21回国民体育大会開催
- 42年 餅ヶ浜海岸埋立完成
関西汽船国際観光港に移転
日豊本線電化開通
- 43年 市民憲章制定
弓ヶ浜海岸埋立完成
北浜公園完成
- 44年 上人小学校開設
し尿処理施設「春木苑」完成
国民宿舎「しだか」完成



年 事 項

- 昭和45年 北浜交叉点地下道完成
婦人会館「なでしこ」開設
鉄輪「むし湯」完成
- 46年 鶴山老人ホーム開設
老人憩の家開設
別府交通センター開設
- 47年 学校給食センター完成(中学生給食開始)
- 48年 市制50周年記念式典
市花「オオムラサキ」制定
別府遠見地域広域市町村圏事務組合発足
身体障害者福祉モデル都市指定(厚生省)
市誌発行
冷川ゴミ焼却場完成
- 49年 鶴見小学校開校
別府市終末処理場等公共用地埋立造成工事着工
- 50年 春木川小学校開校
別府市身体障害者福祉センター完成
フェスビック(権東南太平洋身体障害者スポーツ大会)開催
市環境保全条例施行
環境監視委員(14名)誕生

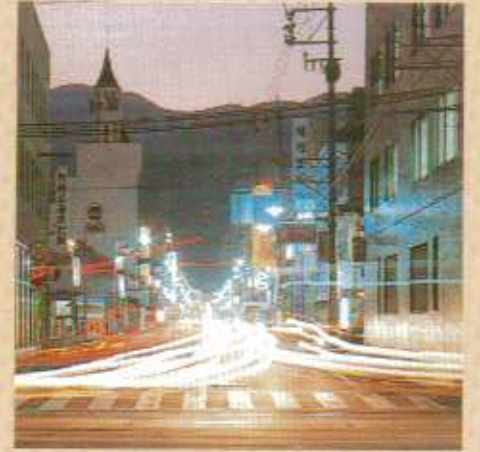


- 別府遠見地域広域市町村圏事務組合特別養護老人ホーム「広寿苑」完成
- 51年 行進曲「べっぷ」の発表
みどり監視員制度設置
全国都市緑化推進モデル都市指定(建設省)
市民相談/パトロールカー始動
市内初のナイター施設開設(青山中学)
南畑不燃物埋立場建設
- 52年 天皇陛下御在位50周年記念公園指定(建設省)
第1回全国育樹祭志高湖畔で開催
- 53年 緑丘小学校開校
別府遠見地域広域市町村圏事務組合、秋草斎場完成
南立石緑化植物園みどりの相談所完成
別府観光シンボルマーク決まる
別府市総合基本計画策定
別府遠見地域広域市町村圏事務組合、腰ヶ谷清掃センター完成
陸上自衛隊別府駐とん地鶴山新隊舎落成
- 54年 中央浄化センター完成
少年自然の家「おじか」完成
大平山小学校開校
勤労青少年ホーム「青雲」完成
消防本部新庁舎完成
ハンググライティング日本選手権開催
- 55年 北部地区公民館落成
'80国際ハンググライティング競技会開催
市民体育館落成

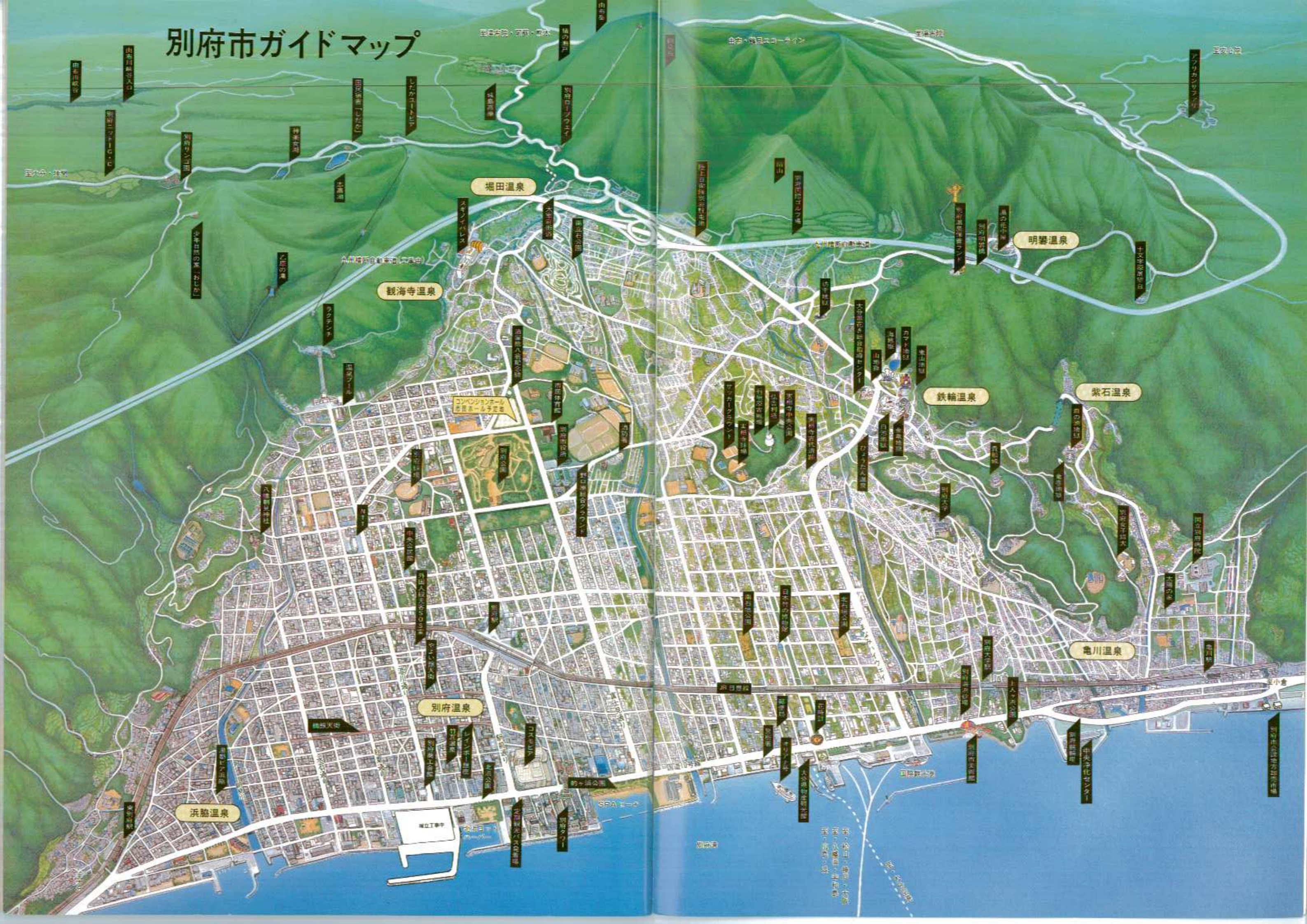


年 事 項

- 昭和56年 '81第3回ハンググライティング世界選手権開催
- 57年 市木に「キンモクセイ」「クスノキ」決定
ふるさと森完成
- 58年 別府市公設地方卸売市場完成
鶴見台中学校開校
西部地区公民館完成
市庁舎建設工事着工
第2回アジアヨット選手権別府大会開催
別府市公設地方卸売市場水産部門入場式
- 59年 公設地方卸売市場青果部門・花き部門開場
一般国道10号日出、別府地区改築事業(亀川バイパス)完成
市制60周年記念式典開催
別府市美術館完成
大韓民国木浦市と姉妹都市提携
全日本ウィンドサーファークラス選手権大会開催
- 60年 新庁舎定礎式
北小学校移転開校
市役所移転、新庁舎開庁
南部出張所開所
米国ボーモント市と姉妹都市提携
中国烟台市と友好都市締結
大分県ニューライフプラザ完成
- 61年 「別府・やまなみ」地区が国際観光モデル地区に指定
中部地区公民館完成
鉄輪・明礬・柴石温泉「国民保健温泉地」に指定
- 62年 別府大学駅開業
ニュージーランド、ロトルア市と姉妹都市提携
南畑市民センター完成(南部出張所・市立図書館・心れあい広場オープン)
オリアナ号オープン
- 63年 市水道局新庁舎開庁
別府ショッピングプラザ コスモピア、オープン
- 平成元年 第二次別府市総合基本計画策定
九州横断自動車道別府・湯布院間開通
全国健康福祉祭第2回おおいだ大会開催
- 2年 青山小学校新校舎完成
住民票オンラインシステム、スタート
石垣町新住居表示実施
- 3年 浜臨再開発事業竣工
朝日大平山地区公民館完成
レンガホール、オープン



別府市ガイドマップ



浜脇温泉

別府温泉

観海寺温泉

堀田温泉

鉄輪温泉

紫石温泉

亀川温泉

明善温泉

別府市観光案内所
TEL: 0975-22-1111
FAX: 0975-22-1112
営業時間: 9:00~17:00
休館日: 月曜日、祭日



別府市民憲章 (昭和43年1月制定)

わたしたちは、海と山とにかこまれた美しい自然と、昼夜の別なくこんこんと湧きいづる温泉のまちに住む市民であることを誇りとし、魅力あふれる観光のまちづくりを目指しています。

わたしたちの市民憲章は次のとおりです。

1. 美しい町をつくりましょう。
2. 温泉を大切にしましょう。
3. お客さまをあたゝかく迎えましょう。

●市木



公共緑化木
クスノキ
(昭和57年制定)



庭園緑化木
キンモクセイ
(昭和57年制定)

●市花



オオムラサキ
(昭和48年制定)

別府市歌 (昭和10年制定)

森 勝比古 作詞

弘田龍太郎 作曲

- 一、鶴見の高嶺 雲をつき
豊後の海の 波青く
ここ湯けむりの 立つところ
輝く我が市 大別府
- 二、湧き出づる温泉 神代より
今もつきせぬ こんこんと
あこがれ来る 人たえじ
歓喜の我が市 大別府
- 三、ここ楽園に住む 我等
使命をにぎる 温泉の
天恵を思へ 潑刺と
伸び行く我が市 大別府
- 四、世界に比なき 湯の都
日出る国の 限りなく
輝き栄ゆる 理想郷
燦たり我が市 大別府



市 徽 章

(大正13年4月1日制定)